

男女共同参画の視点から 考える防災

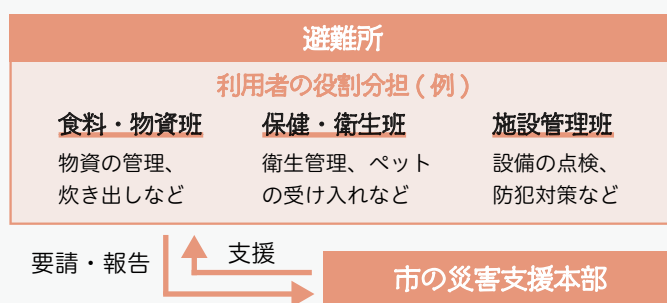
多様性社会推進課 ☎85-4401

災害は、地震や風水害などの自然現象（自然要因）とそれを受け止める社会の在り方（社会要因）で被害の大きさが決まると言われています。社会要因による被害を最小限にするためには、性別や年齢、障がいの有無など多様な人の視点を踏まえて災害に対応する必要があります。

男女共同参画の視点から、防災について改めて考えてみませんか。

避難所運営には、皆さんの協力が不可欠です

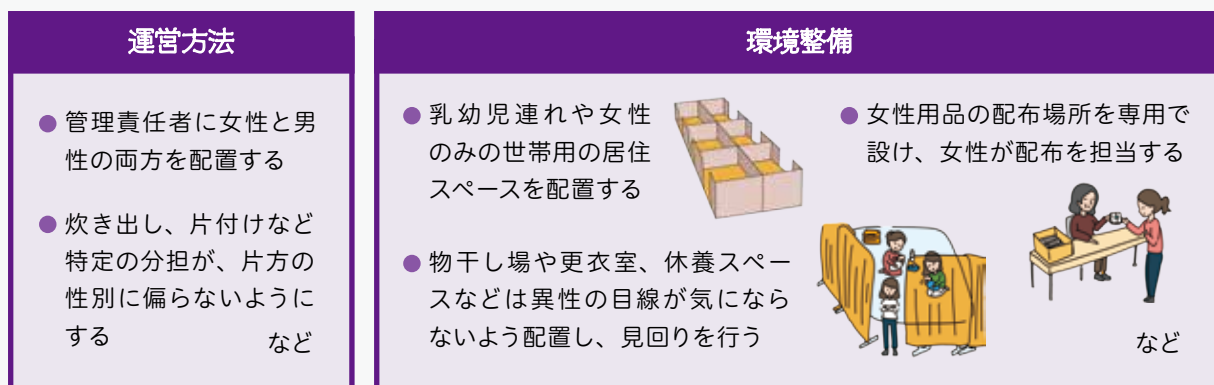
大規模災害などで避難所生活が長期化する場合、生活する上でのルール決めや炊き出しなどの運営は、避難所を利用する全ての人が協力して行う必要があります。



誰もが安心できる避難所づくり～男女共同参画の視点から～

過去の大規模災害時には、特に女性において、プライバシーの確保や衛生用品の配布、防犯・安全対策などの課題が浮き彫りになりました。限られた空間で多様な人が集団生活を送る避難所を誰もが安心して過ごせる場所にするためには、男女共同参画の視点から運営方法やレイアウトを検討することが必要です。

いざという時のために、市の防災訓練や出前講座などを活用し、困りごとや災害時に起こりうることを日頃から地域で話し合うことが大切です。まずは、町内会などの地域づくりに参加し、近所に住む人たちと顔の見える関係になることから始めてみましょう。



さらなる男女共同参画の推進に向け、「かすがい男女共同参画市民セミナー」を開催します

「女性が輝く社会をめざして」をテーマに、愛知県副知事・古瀬陽子氏を講師に迎えます。

日 時：11月29日(日)14:00～14:50(13:30から受付)

場 所：レディヤンかすがい 申込期限：11月13日(金)



愛知県副知事
古瀬陽子



ID:1037829